

問題の解決法を科学的に研究する「オペレーションズ・リサーチ（OR）」の研究者が集まる「日本オペレーションズ・リサーチ学会2011年秋季研究発表会」（神戸新聞社など後援）が15日、東灘区の甲南大で始まった。同学会会長

■ 甲南大 ■

でNHK経営委員長を務める数土文夫・JFEホールディングス相談役と、神戸新聞社の稲垣嗣夫相談役が特別講演し、国内外の研究者による研究発表やパネルディスカッションもあった。（直江 純）

# 問題解決を科学的に研究するOR学会

私は新聞社では珍しくのコンピューターのはしり系出身で社長になり、りで、新聞社に必要な「情と理」の両方を大切 システム構築に役立つにしてきた。理学部で学 だのは電子計算機。今 日本は老大国になりつ

総合情報産業とOR  
稲垣嗣夫氏



講演した稲垣嗣夫氏

## 特別講演やパネル討議

日本の国際競争力の現状と課題



講演した数土文夫氏

数土文夫氏

日本の国際競争力の低 背景に高等教育の問題 下は著しい。1991年 がある。理系比率は2割 に1位だったのが、市場 を切り、米国での博士号 がグローバル化すると26 取得者も少ない。法人 税率は高く、消費税が低 位にまで転落した。

## 閉塞感打ち破る研究を

い。スウェーデンは逆だ が競争力も幸福度も高 い。 農業の生産性も低い。 毎年4・6兆円超の予算 を投入し、総生産額は8 ・4兆円しかない。銀行 も護送船団で金融工学の 導入が遅れた。 OR学会には閉塞感を 打ち破る研究を望みた い。産官学の連携で実社 会に貢献すべき。台湾や 韓国は低出生率でも経済 成長している。少子化を 言い訳にはしていけな い。

## 安全安心の社会を構築

つある。司法、立法、行 政が変革を迫られてい る。さらには世界有数の 地震国でもある。災害対 策は避けて通れない。東 海・東南海地震も起こり うる。西日本でも津波 対策を進める必要があ る。 新聞社は安全・安心の 社会構築に努力してお り、教育にも参画する。 私は県サッカー協会長も 務めているが、子どもの 知能指数を上げるばか りでなく、感情の豊かさ を育てなければならな い。

## 11会場で分科会

## 震災復興へ 分析や戦略

11会場に分かれた分科会では、東日本大震災の帰宅困難者の分析や、広域災害医療の戦略、ORのマーケティングへの活用など多様な切り口の研究が発表され、アジア各国の研究者によるワークショップもあった。

震災復興をテーマにしたパネルディスカッションもあり、数土氏は「阪神・淡路では西宮や神戸の旧川崎製鉄が、今回は仙台のJFE条鋼がそれぞれ被災した。東北の雇用を支える輸出産業の復興が必要だ」と訴えた。

ブース展示には神戸新聞グループも出展。震災報道の写真や関連書籍などを展示した。



震災復興をテーマに意見を交わしたパネルディスカッション。東灘区岡本8、甲南大（撮影・岡田育磨）